

# 市民の安心と安全を支える

# 防災行政無線の運用を開始

本市は、台風の襲来により、昭和51年、平成2年に甚大な浸水被害を受け、近年では、平成16年に、台風による異常潮位と満潮が重なると、沿岸部で733戸が浸水するという被害を受けています。この

ような災害時に、迅速に水位・潮位などのデータを収集し、住民の皆さんに適切な避難情報をお伝えするために、平成18年度に総事業費約5億2千万円をかけ、デジタル方式の防災行政無線を整備しま

した。防災行政無線整備工事の概要は、市役所本庁舎の防災無線放送室の中に統制局を、長船町東須恵の四辻山中継局の鉄塔を建設。また市内49カ所に屋外放送塔を設置し、

行政委員、民生委員、消防団員などの皆さん宅へ戸別受信機を設置しました。

また、移動系の設備として、公用車と消防車に車載型の無線機を58台整備し、携帯型の無線機なども113台整備しました。

4月1日から防災無線の本格的な運用を開始します。災害時には、屋外放送塔と戸別受信機を使って、市役所の対策本部から避難勧告などの避難情報を放送するとともに、火災時にも消防本部から火災情報を放送します。また、市役所からの各種お知らせも、この無線設備を利用して放送します。

屋外放送塔と戸別受信機に向けて電波を送信し、毎日、午前7時と午後5時に、チャイムを鳴らします。この音で正常に受信できているかを確認することができます。

本年7月には、本市のデジタル防災行政無線整備の完成を記念し、中国総合通信局と本市が主催で、瀬戸内市デジタル防災行政無線通信訓練・防災講演会（仮称）の開催も予定しています。



▲四辻山中継局



◀屋外放送塔



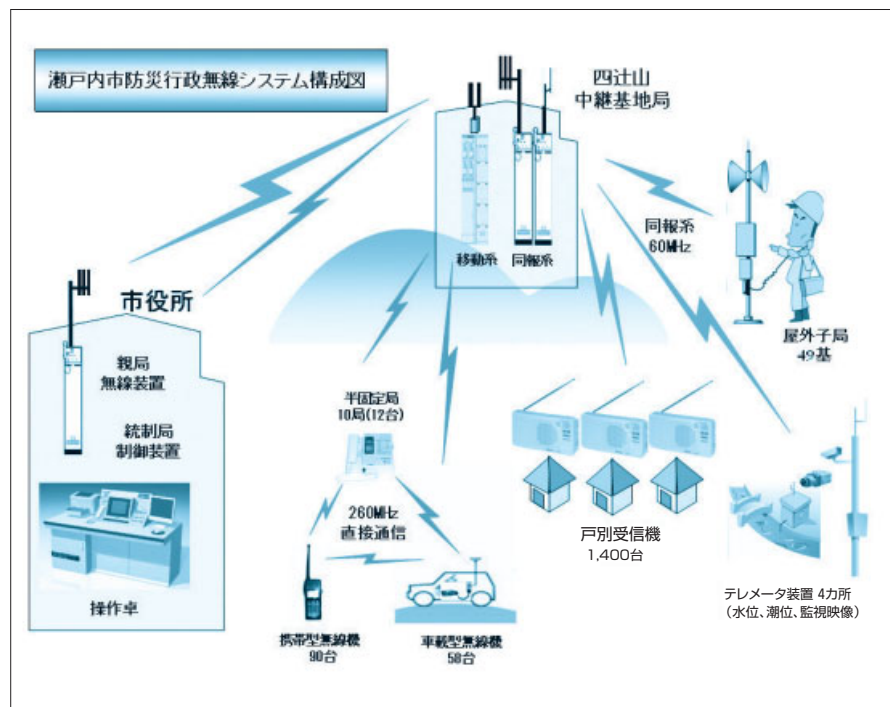
▶水位観測装置



▶車載型無線機



▶気象データ表示装置



▲市役所統制局